

「来てよかった」地区大会、無事終了に感謝します

国際ロータリー第 2590 地区ガバナー 樋口 明

皆様、こんにちは。

11月10・11日、水野 功 RI 会長代理ご夫妻をお迎えして2023-24年度地区大会を開催いたしました。水野 RI 会長代理が旭日小綬章を受章された直後ということで大いに盛り上がり、絶妙なタイミングでありました。ご参加くださいましたロータリアン、ローターアクター、ロータリーファミリーの皆様、有難うございました。また、ホストクラブ、コ・ホストクラブの皆様には、感謝の言葉ありません。心より御礼申し上げます。

大会のテーマ「Create Hope in the World」の下、ガバナーテーマ「先達を敬い、未来を見据えて行動しましょう！」から、1日目は「先達を敬い」、2日目は「未来を見据えて」にいたしました。

水野 RI 会長代理には、メインアドレス2件「RI 現況報告」と「RI 会長メッセージ」はじめ2日間を通して実に詳しく、とても丁寧にお話し・ご指導を賜りました。

1日目の指導者育成セミナーでは、まず上野 孝 PG より、「関東大震災とロータリー」の演題で、震災からの復興、横浜の発展に辣腕を奮った井坂 孝氏（横浜 RC 創始者）、ロータリーが果たした役割について等、貴重なお写真満載でご講演いただきました。

次に、国際ロータリー第2800地区の鈴木 一作 PG より、「ガイ・ガンディカーから学ぶロータリー」の演題で、ガイ・ガンディカー氏のロータリー観、クラブ奉仕の真意、例会の重要性、クラブ会長の心意気等についてご講演をいただき、「来てよかった」という珠玉の合言葉を頂戴しました。

会長・幹事会終了後、RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会の音楽演奏では、エイドの小倉 PG がサプライズで登場、「昴」と「オー・ソレ・ミオ」を熱唱され、会場の雰囲気は最高潮に達しました。

2日目は未来を見据えてのテーマに沿い「ロータリー財団奨学生帰国報告」で始まり、

青少年関連プログラム紹介では4年ぶりに青少年が登壇、十分な時間を取りました。特に、日本人より日本語が上手な米山学友のタパさん（ネパール出身）のスピーチでは、会場が笑いに包まれました。

記念講演は、気鋭の投資家であるエミネントグループ（株）CEO の小野塚恵美様に「持続可能な社会で必要とされる個人と企業」として、新しい投資の形と今後の展開、サステナブル経営について等、お話し頂きました。青少年にもわかりやすくお願いしておりましたので、一人のインターアクターが帰り際に「今日は参加してよかった。サステナブルな社会に必要なのは、人を思いやる企業や人だというお話、とても良かった。」と感想を話していたと聞きとても嬉しく思いました。

水野 RI 会長代理からは、「ガバナーの想いがこもった良い大会でした。」と勿体無いお言葉を頂戴し感激致しました。一方反省すべき点多々ありました。「帰国報告会」へのロータリアン参加者が少なかったこと、米山奨学生の欠席が多かったこと等々、担当委員会、関係者としっかりと振り返りたいと思います。

ともあれ多くの皆様のお蔭で無事終了致しました。本当に有難うございました！

本年度の地区副幹事（ロータリー財団担当）としてご尽力頂き、私の高校の先輩でもありました井上光昭会員（神奈川 RC）が逝去されました。突然の訃報に啞然と致しました。井上さん、もう口論もできないじゃないですか、早過ぎますよ。残念でなりません。謹んでお悔やみ申し上げます。

